

第37回若葉カップ全国小学生バドミントン大会 新型コロナウイルス感染症の対策方針

令和3年6月27日現在

若葉カップ全国小学生バドミントン大会実行委員会

日本バドミントン協会が策定した「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）」及び、開催会場である西山公園体育館の感染拡大予防ガイドラインを参考に、表記大会を開催するにあたって以下の感染防止対策を策定しました。

■ 基本的な考え方

参加選手、大会役員及び関係者の健康と安全を最優先に考え、大会運営を行います。

1. 大会全般について

- 1) 消毒等感染防止に必要な物品は大会主催者で準備する。
- 2) 体調に異変を感じられた場合は、速やかに関係機関（所属チーム責任者、若葉カップ事務局など）に報告すること。
- 3) 今大会は「無観客試合」とし、会場に入場できるのは、選手、参加チーム関係者、大会役員及び関係者のみとする。
- 4) 大会会場敷地内ではマスクを必ず着用すること。

2. 参加チーム関係者、大会役員及び関係者について

- 1) 大会2週間前から検温及び体調管理を行い、体調管理表の提出を求める。
(大会前2週間に発熱及び新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状がある場合又は、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は当日の参加・従事を控えていただく。)
- 2) 当日受付時（入館時）に検温を行う。（37.5°C以上の発熱等の症状がある場合は入場を禁止する。）
- 3) 大会終了後2週間は検温及び体調管理を行い、万が一、感染症疑いのある症状がある場合は管轄の保健所に報告し、主催者への報告を求める。
- 4) 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱の利用は禁止する。
- 5) 大会開催前に接触確認アプリ等のインストールを徹底する。

3. 選手に対して

- 1) ウォーミングアップは距離を空けて行い（大会会場内は不可）声は出さないこと。
- 2) コートへの入場はそれぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する
(移動の際は2m以上の間隔を空ける)。
- 3) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。

- 4) 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する。
- 5) シューズの裏を手で拭かない。
- 6) 試合中、意図的な声出しを極力しない。
- 7) 更衣室の使用については、人数制限を厳守すること。
- 8) 観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う。席を移動しての応援はしない。
- 9) 試合以外では、マスクを着用する。
- 10) プレーヤー同士ハイタッチ等の接触を行わない。

4. 監督・コーチに対して

- 1) 「健康状況確認シート」を活用し、毎日の検温を含む健康チェックを指導する。
- 2) コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- 3) プレーヤーとハイタッチ等の接触をしない。
- 4) ミーティングはできるだけ行わない。やむを得ず行う場合は「3密」を避けること。
- 5) 体調不良等で棄権する時は、来館せず大会事務局に電話（075-953-1161）にて連絡すること。

5. 大会運営面について

- 1) 出入口についてはドアを常時開放する。
- 2) 大体育室・小体育室の排煙窓は換気のため常時開放する。
- 3) 開場時に人数を区切って入場させる。
- 4) 運営物品や共用物等は、定期的に消毒を行う。

6. 大会本部及び受付について

- 1) 本部席には、手指消毒用、備品消毒用のアルコールを準備する。
- 2) 人が対面する箇所には、アクリル板やビニールシート等を設置する。
- 3) 参加者が距離をおいて並べるように目印をつける。

7. 競技会場について

- 1) 熱中症対策として、冷房運転を行う。ただし、出入口のドア、窓は開放する。
- 2) コートサイドには、選手が使用するカゴやトレイは設置しない。（選手は各自バッグを持参させ、飲み物も各自バッグに収容させる。）
- 3) コーチ席は1席設置します。
- 4) コートのモップ掛けをゲーム毎と毎試合終了後に行う。
- 5) 每試合終了後、審判台、線審席、コーチ席、選手席、得点板等を消毒する。
- 6) 密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの貼付は行わない。

8. 競技中について

- 1) 審判員（主審、サービスジャッジ、線審、得点係等）はマスクを着用する。
- 2) 審判員とプレーヤーは握手を行わない。

- 3) トスはフィジカルディスタンス（2m以上の距離）を確保して行う。
- 4) 主審のコールは必要最小限（「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」等のみ）とし、ポイントのコールを大声でしない。また、線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- 5) シャトルの交換は、選手が一定の距離に来たら投げて渡す。交換は回収ボックス（青いボックス）を用意し、直接触れないようにして交換する。

9. 大会参加者の行動制限について

- 1) 大会参加者は、別添の安全基本行動ガイドを遵守すること。
- 2) 帯同する保護者は4名以内とし、選手が試合をしている間は指定された席で待機し、応援は拍手のみとし、声援は不可とする。
- 3) 試合会場内でのビデオカメラ、スマートフォン、カメラ機器での撮影は不可とする。
- 4) 試合を終えたチームは速やかに退館すること。

10. ゴミの処理について

- 1) 個人、チームで出たゴミは全て持ち帰る。

■大会関係者の感染者等の発生時の対応について

1. 新型コロナウイルスに感染した場合

速やかに長岡京市及び所轄の保健所に報告するとともに、大会関係敷地内への立ち入りを禁止する。

2. 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と特定された場合

速やかに長岡京市及び所轄の保健所に報告するとともに、大会関係敷地内への立ち入りを禁止する。

■開催中止判断基準

要 因	開催地の感染状況 京都府の感染状況 国の緊急事態宣言の発出又はまん延防止重点措置の適用 陽性者及び濃厚接触者と特定された場合
期 日	6月17日（大会1ヶ月前） 7月3日（大会2週間前） 大会期間中
機 関	最終判断 長岡京市・(公財)日本バドミントン協会・日本小学生バドミントン連盟
	情報収集 長岡京市教育委員会・京都府バドミントン協会・(公財)長岡京市スポーツ協会